

兵庫県版 日本の息吹



令和元年六月二日、「拉致問題解決」、「憲法改正」をテーマとした自民党青年局の全国一斉街頭活動が実施されることになり、参議院選挙を前に、停滞する憲法審査会の状況を多くの国民に訴えるため、美しい日本の憲法をつくる国民の会も支援、協力を行った。

平成一四年一〇月の拉致被害者五名が帰国した時刻一四時三三分に合わせ、神戸大丸前、三宮そごう前に総勢約二〇名が集まり、街宣、冊子およびチラシ配布を行った。冊子は政府拉致問題対策本部発行の「北朝鮮による日本人拉致問題」（二二二頁）、チラシは憲法をつくる国民の会の開かれぬ憲法審査会の実情を訴えたパンフレット等四種類を各二〇枚程を用意した。



版 第二二二号 令和元年六月（皇紀二六七九年）
六月二五日発行 日本会議兵庫県本部事務局
六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
HP <https://www.nipponkaigyogo.org/>
メール nipponkaigyogo@gmail.com



《 4月25日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 7月7日(日) 13時半 女性の会教育講演会(生田神社/荒谷卓氏「サムライ精神を復活せよ！～君民一体の國 日本～」)
- 7月15日(月・祝)午後 日本会議兵庫県本部総会記念講演会(ホテルニューアワジプラザ淡路島/山田蓉氏(元掌典次長))

弁士には、衆議院議員の盛山正仁氏、県会議員の原吉三氏、長瀬たけし氏他神戸市会議員、明石市議会議員らが次々に街宣車に上がり、街行く人々に、有本恵子さんや横田めぐみさんなど警察庁公表の八八三名もの拉致被害者の救出を訴え、また、一部の政党により審議拒否をされ、進まない憲法調査会の実情等を口々に訴えた。

多くの人々が避けるように急ぎ通り過ぎる中にも時折、励ましの声をかけて下さる方々もおられ、二か所、約二時間にわたり、冊子、チラシはほぼ配布し終えた。（市橋記）

《会員必読の書紹介》

1 『太平洋戦争の大嘘』
藤井厳喜著 (DIRECT)

2 『フーバー大統領が明かす日米戦争の真実』
米国民をも騙した謀略』

藤井・稲村・茂木共著
加瀬英明編 (勉誠社)

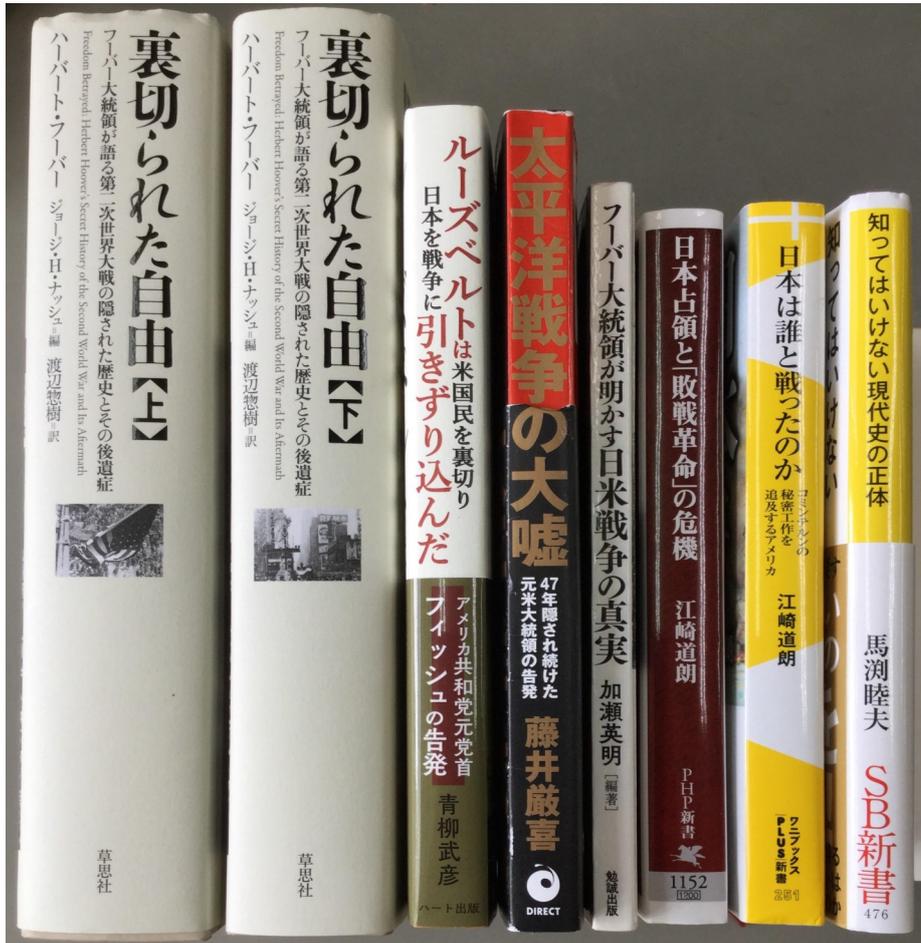
3 『ルーズベルトは米国民を裏切り日本を戦争に引きずり込んだ』
青柳武彦著 (ハート出版)

4 『知ってはいけない現代史の正体』
馬淵睦夫著 (SB新書)

5 『日本は誰と戦ったのか コミンテルンの秘密工作を追求するアメリカ』
江崎道朗著 (ワニブックス)

6 『日本占領と「敗戦革命」の危機』
江崎道朗著 (PHP新書)

7 『裏切られた自由』
ハーバート・フーバー著 (草思社)



大東亜戦争（第二次世界大戦）における真の戦争犯罪者がF・ルーズベルトであると決定づける書。

1と2は、第一級の史料に基づいたH・フーバー（第三一代アメリカ大統領）によるF・ルーズベルト批判。3はH・フイッシュユ（米国共和党元党首）によるF・ルーズベルト批判。これら三冊は、大東亜戦争は共産主義者ルーズベルトが、日本の共産化と中国における日本のマーケットを横取りする為に、アメリカ国民や議会を騙して始めた日本破壊のための戦争であると断言している。

4は金融面から考察した戦争の原因と真の黒幕。

5と6は、戦争前後を通してコミンテルンの工作を、主に米側資料等に基づき解説。

7は日本に直接関わりのある部分を解説した1と2の元本。

（栗原記）